



ひとまちふくおか

HITO MACHI FUKUOKA

NewSpot 大濠公園『つなぐ』プロジェクト「ヒト・モノ・コト」を『つなぐ』大濠テラス

空き家が蘇る！ 東峰村 古民家ヴィラ「あんたげ」／八女市 NIPPONIA HOTEL 八女福島 商家町

協会NEWS▶今年度も「献血」に協力します！

福岡県空き家活用サポートセンター「イエカツ」スタート・令和2年度「リノベーション推進事業補助金」【リノベde補助】

注目建築▶創立60周年記念事業「大楠アリーナ2020」



特集

HITO MACHI FUKUOKA
INTERVIEW

災禍を突破する！～未来への第一歩～

株式会社ギラヴァンツ北九州 代表取締役社長 玉井 行人さん

独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 救命救急センター長 医師 野田 英一郎さん

農事組合法人 宝珠山きのこ生産組合 理事 川村 優子さん

Restaurant Sola オーナー 吉武 広樹さん

大濠公園『つなぐ』プロジェクト

「ヒト・モノ・コト」を『つなぐ』大濠テラス

福岡県営大濠公園内の日本庭園西門付近の緑地帯に福岡県の特産品である日本茶（八女茶）をテーマとした飲食施設を整備し、日本庭園を含む公園南側エリアの活性化を図る福岡県営大濠公園飲食店等整備事業で新しいカフェが誕生！



日本庭園西側に建築され木造2階建てのカフェは「大濠テラス 八女茶と日本庭園と。」と名付けられ、日本茶（八女茶）を中心とする福岡県产品、歴史・芸術・文化・観光の発信拠点となるようなアイデアが盛り込まれた施設である。

1Fのカフェは約30名が利用でき、犬走りの外部席、カウンター席、テーブル席の椅子の高さを変えることでどの席からも大濠公園を一望でき、ゆっくり景色と軽食を楽しめる。



メニューには八女茶を中心としたドリンクやデザートの他に福岡県产品を中心につくられた「田舎風だし玉子焼おぜん」や「旅するおいなりセット」などが提供される。



また、福岡県下・九州内で地方に埋もれている珍しい特産品を見つけ出し、厳選した商品を販売するコーナーも設置されている。



1F東側には着物のレンタルコーナーがあり、普段着ることのない着物や小物を身にまとい、日本庭園や公園内を散策することで日本文化の風情を楽しむ仕掛けもされている。



2Fは約18席が準備されているが、通常、目にすることができない目線での大濠公園の全景が、一年中明るさが安定している北側の窓を通して額絵のように見ることができる。また、時間貸しで貸し切る事ができるためミニセミナーや文化的作品展、パーティなど様々な利用も可能となっている。設備もWi-Fiの他、キッチンも完備され、荷物収納にもなるテーブルや椅子が配置されている。



また、この整備事業は飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公園施設の整備とその施設から生ずる収益を活用して周辺の園路、広場等の整備、改修

等を一体的に行う「公募設置管理制度(Park-PFI)」の考えで計画されたため、カフェとつながる日本庭園西門は従業員の通用口から一般利用者の出入口へと整備されている。



プロジェクト構成団体代表: クレアプランニング株式会社
担当: アライアンス事業室長 戸田 三喜郎さん

「天神・博多地区は、たしかに人は多いですが先を急いでいる感じがします。しかし、ここ大濠公園は時間もゆったりして回遊できるので、地方PRのサテライトスペースとして「ヒト・モノ・コト」を『つなぐ』ことが可能な場所だと考えています。県内の様々な情報の発信源にこの施設を活用していただけたらと思います」



大濠テラス

- 所在地: 福岡市中央区大濠公園1-9 大濠公園日本庭園西側
- 営業時間 / 9:00~20:00(19:30オーダーストップ)
- 定休日(毎週月曜日—日本庭園の定休日に準ずる)
- 構造: 木造2階建 ● 延べ面積: 199.8m²(1F/152.3m²・2F/47.5m²)
- 運営: 大濠公園「つなぐ」プロジェクト
(代表企業: クレアプランニング株式会社)
- 設計: 株式会社リズムデザイン ● 施工: 株式会社百田工務店
- テナント:
アンドローカルズ(和カフェ) Tel: 092-761-1450
YAMATO Tsunagari gallery(着物レンタル) Tel: 092-401-0275

特集

HITO MACHI FUKUOKA INTERVIEW
災禍を突破する!
~未来への第一歩~

INTERVIEW.01

株式会社ギラヴァンツ北九州
代表取締役社長

たま い ゆき と
玉井 行人さん



プロフィール

1957年北九州市若松区生まれ。西日本新聞社で社会部警察担当記者、キャップ、デスク、支局長、北九州本社代表を歴任。地元の要請を受けて退職し、2018年1月にギラバンツ北九州の代表取締役社長に就任。

©GIRAVANZ

J2リーグを席巻し、快進撃を続けるギラヴァンツ北九州。J3最下位から3年でのこの躍進は奇跡に近いといわれています。この活躍の裏には一体どんな軌跡があるのでしょうか。



クラブ変革の原動力は
北九州DNAとチーム哲学

「私が社長に就任した2018シーズンの途中からJ3最下位、地元の支持率は低迷。要因を解明すべくメンバーに目指すサッカー像を聞いても明確に答えられない。理念はあっても哲学がない。これはゼロから作り直さねばと決意しました」。しかし改革への道のりは困難を極め、食事も喉を通らず眠れない日々が続きます。すべてを立て直すため、契約更改は選手一人ひとりに自らが通達し、監督やコーチ、強化本部長の再編成のためにたくさんの人々に会い奮闘します。「地域に愛されるクラブにしたい、北九州の価値を皆さんに伝えたいと訴えましたが、なかなか意思通じる方に巡り会えずにいました」

劇的変化をもたらした指導者
小林イズム

時間だけが過ぎ、でも諦めずにいた時に出会ったのが小林伸二監督でした。「私は北九州生まれで、新聞記者でしたが、サッカーのルールさえ知らない素人。しかし、私の想いを、小林さんは熱心に聞いてくれました。すると“サッカーを知らない人にサッカーの面白さを伝えたい”と言われて、その人柄に懸けようと思いました」小林監督が最初に行ったのはフィジカル面の強化。身体が小さい、跳べない、走れないという弱点を克服するために専属コーチを招き、選手にGPSを身に着けさせ、1日の走行距離や脈拍数などをデータ化します。すると走る量が変わり、体脂肪10%以上だった大半の選手が、3~4か月でたった1人に。「小林さんは自主練も最後まで見てアドバイスされています。人間、見られると変わりますよね。教育的な側面からも指導に当たり、チームは確実に成長しました。自分はただ改革のスイッチを押しただけです」



精鋭たちが結束し目指すは
次のステージ

こうして最後まで攻め続けるスタイルを確立し、4年ぶりにJ2に返り咲きます。しかしこれからという矢先、新型コロナウイルスの影響で4か月間リーグが中断。選手の活躍の場は奪われ、当然経営は苦しい状況に。「そんな中でも選手たちの気持ちは途切れることなく、6月に観客上限付きで再開されると9連勝を遂げました。問題はチームの成長スピードに経営が追いついていないことです。経営情報開示によると、19年度のJ2クラブの平均は16.5億円。一方、我々は8億円強でした。資金面はチーム強化に関わる大きな問題です。そこで今一度、原点を見直そうと開始した取り組みが、街と共に再生を目指す『With!!KITAKYUSHU~この北九州(まち)プロジェクト』です。コロナ禍の中で寸断されていたものが、言葉で繋がることの大切さを実感しました」J1昇格が現実的な目標となった今、地域の力が後押しとなり、また新しい景色を見せてくれる。そう期待せずにいられません。



INTERVIEW.02

独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター
救命救急センター長

の だ えい いち ろう
医師 野田 英一郎さん

プロフィール

1995年 九州大学医学部卒業。卒業後、九州大学病院麻酔科、日本大学医学部付属板橋病院、九州大学病院救命救急センター診療講師等を経て、2015年より福岡市民病院の救急科科長、2020年4月より九州医療センター救命救急センター長に就任。



救命救急センターの前で



デスクでの仕事の様子



世界中で猛威をふるう新型コロナウイルス。初期に比べると感染者数が落ち着きを見せるに伴い、医療現場の声が私たちに届きにくくなっています。医療の現場で起きていたこと、そしてこれから仕事を、九州医療センターの救命救急センター長であり、福岡県新型コロナウイルス感染症調整本部副本部長の野田英一郎さんに伺いました。

行政区を越え行政と医療機関がワンチームに

「7月の終わりから8月にかけて入院患者が増え、現場が逼迫していました。4月からずっと走り続けていて休みはほぼ取れていません。新型コロナの対応においては三つの段階が存在します。まずは陽性患者の把握。これは保健所の仕事。その次に入院の要・不要の判断、どこの病院に入院するかの采配。これはコロナ調整本部である僕らの仕事。その後各医療機関の医師や看護師が実際の入院診療にあた

ります。この三つの段階が連携し、スムーズに進めていくことが非常に重要です。普段、行政区をまたぎ、ひとつ事を成すことが不可能に近い中、これまでの常識を捨て、県内の各医療機関と行政が一丸となって同じ方向に向かって協力したことはおそらく初めてだと思います。これまでの連絡手段、ファックスやメールでは間に合わない。今やクラウドサービスを使ったシステムが構築され、医療従事者は同じ情報を見ることができ、瞬時に情報を共有できます。全国でも福岡県はスピードや調整が非常にうまく機能しているチームといえるでしょう。行政と医療機関が一体となれたことは今後の災害対策にも応用できるはず」と話します。

誰も孤独にしない 喜びや痛みをわかちあう言葉の力

「チームが結束するためには情報の同時共有とともに、心配りが非常に大事なんです。感染リスクがある現場で働く我々医療従事者に心ない発言が届くこともあります。スタッフのなかにはそういった発言によって精神的に追い込まれてしまう者もいます。大事なことは、チームとしてそういうことに気付く余裕、そして気付いたら声かけし、誰も孤独にさせないことです。“がんばったね”、“おつかれさま”、“一緒にがんばろう”、言葉にすると互いに力が湧いてきます。そして二度目のミスは起こさないこと。学び続けていく姿勢がチームを成長させるのだと思います」野田先生の言葉から、試行錯誤しながら進んできた苦労が垣間見えました。

闇いは終わっていない 異変を感じたら無理はしないこと

医師として調整本部副本部長として奔走し、福岡県の人々のために働いてきた野田先生は、今後も予断を許さない状況が続くとみています。「今後はインフルエンザ流行の季節になりますから、合併症も含めて患者は増えていくでしょう。大事なことは異変を感じたらすぐに休むということ。休んだときの子どもの預け先も含めて、休める体制を整えること。インフルエンザかコロナウイルスか普通の風邪かを確実に診断するのは困難なので、異変に気付いたときに他の人に移す可能性を考えて行動すること。インフルエンザは自覚症状が出たその日から三日目までが人にうつす可能性が高くなるのに比べ、コロナは自覚症状が出た日のすでに三日前から人にうつしている可能性があり、ここがコロナの感染が拡大していく要因です」自分の体の声を日頃からよく聞いて、休む、それがあなたとあなたの大切な人を守ることになります。



国立病院機構 九州医療センター

農事組合法人 宝珠山きのこ生産組合
理事

かわ むら とも こ

川村 優子さん

プロフィール

宮崎大学農学部大学院農学研究科修士課程を卒業後、鹿児島大学大学院連合農学研究科へ入学、博士後期課程修了後自主退学。同時に、農事組合法人「宝珠山きのこ生産組合」へ入社。研究・開発および渉外、企画、広報の責任者として現在に至る。2008(平成20)年農学博士号を取得。



菌床は、九州産の木くず、米ぬか、ふすま、水だけで作られている



4月に発表した新商品



福岡県中央部の東端に位置し、大分県日田市と隣接する東峰村の宝珠山のふもと、大肥川沿いで菌床しいたけを生産している川村倫子さん。しいたけ農家の4代目です。2017年7月、川村さん一家を襲ったのが九州北部豪雨。自宅の裏山が土砂崩れを起こし自宅は崩壊し、大肥川氾濫によりハウス6棟と、事務所も失います。それからというもの、仮設住宅での生活を2年、2019年夏からは村営の復興住宅で過ごすなど、まだ闘いは続いています。

1億2000万円を超える被害と決断

九州北部豪雨の被害により代々続くしいたけ農家を4代目で廃業するか否かの選択を迫られます。「経営の存続について家族で何度も話し合いました。災害があった年は、すでに作業場所を集約し事業を拡大する計画を立てていたこともあり、ここで辞める理由はない、良い意味でチャンスかもしれない」それが家族で出した答えでした。

先が見えない中で最初に着手したのは、新施設の建設。2018年7月に完成させます。この施設が完成したこと、「被災前よりも作業効率は上がりました」と話します。「次は、空いている敷地のスペースに見学施設を作りたい。特に小学生にしいたけが、どのようにして生育して食卓まで運ばれるのか、完全無農薬で菌床栽培のしいたけを見てほしい。しいたけは原木栽培が良いという固定的なイメージを払拭させる、それが私の使命」と、次のプロジェクトに着手していた矢先、コロナが大流行するのです。

人の温かい気持ちが次へのエネルギーに

FacebookなどSNSで積極的に情報を発信していた川村さん。予想以上の反響の大きさに驚きました。それは、全国各地から応援メッセージと共にくる注文です。「新しく棟が建つまでは、発送できる商品がなく、被害に遭わなかつた加工商品のみでした。励ましの手紙もたくさん送ってください、読むたびに感動して…」人の応援は、被害に遭った人の胸の奥に染み渡り次へのエネルギーになります。そのことを実感した川村さんは、温かい声援があったことで、こうして事業を再開でき、もうすぐ3年になります。

しいたけがつなぐ絆と未来

コロナ感染防止の影響で自らが7年前に立ち上げた「きのこ大祭」の催しが中止になりました。新たな壁が立ちはだかる中でも、4月には新加工品「おつまみアヒージョ」を販売し話題になったり、この10月から直売所を再開したり、ハウスがある土地に自宅を新築したりと、少しずつですが順調に進んでいるようです。「しいたけを知ってもらい、食べてもらうことでもっと事業を拡大させ、愛する故郷、ここ東峰村の魅力を全国に発信し、雇用を生み出したい、福岡県のきのこブランドを作りたい」と夢を語り、「前を向いて歩いていく」と語った笑顔がとても印象的でした。

INTERVIEW.04

Restaurant Sola
オーナー

よし たけ ひろ き
吉武 広樹さん

プロフィール

佐賀県生まれ。26歳の時、調理器具を抱えて世界一周の修行の旅へ。2011年、パリ5区で開業したRestaurant Solaは、仏でミシュラン一つ星を認定された。2018年ベイサイドプレイス博多にて【Restaurant Sola】開業。



2018年、4年連続で日本一だった博多港におけるクルーズ船の寄港回数は、世界中に拡大したコロナにより激減しました。世界の船が行き交う博多湾を展望するベイサイドプレイスの2階にあるRestaurant Solaを経営する吉武シェフを取材しました。

海は世界とつながっている 世界を舞台に料理を提供

「ベイサイドをレストラン出店に選んだ理由は、この立地です」東京・大阪を含む全国の物件からこの場所に決めた吉武シェフ。「当初、船舶は忙しく往来し、空には飛行機が複線を描いていました。岸辺の都市高速には車の動きが絶えず、一日中眺めても飽きなかったのです」湾の両サイドに魚市場、肉の加工場があることも、食をプロデュースする吉武シェフの決定打となりました。空港から車で15分、博多駅から10分という贅沢なロケーションは、世界でも希少な場所だったのです。



Restaurant Solaの空間は、空や海が世界につながっていることを想像させる

否定ではなく 提案から見えてきたもの

レストラン経営も順調に進んでいた矢先、コロナが博多湾の景観をすっかり変えてしまいました。特に外食産業は大きな痛手を被りました。「海外での大変な経験もあり、コロナは私の許容可でした(笑)。おかげで大きな気づきもありました。人々の『食を楽しみたい』という需要はなくならないのです。ケータリングやオードブルというスタッフの案を実践しながら、状況に応じて事業を変化させました。私の好きな言葉に『否定ではなく提案を』という言葉があります。この災禍に対して、何ができるのか?スタッフと試行錯誤しながら困難を乗り越えることができたことが僕たちの自信になりました」

伝統への挑戦と 意識改革を楽しむ

吉武シェフは、持続可能な海づくりのために魚の乱獲を防ぐ「Blue Seafood運動」に賛同しています。「日本では、魚の養殖に対する風当たりが非常に強い一方、消費量が増え続ける畜産はそのほとんどが肥育ということを意識している人がどれくらいいるのでしょうか。日本の魚の養殖は、その技術や冷凍冷蔵技術は格段に進歩していますから、自然漁業による近海魚の乱獲を避けることにもつながっています」と語ります。

す」と語ります。最近では、佐賀伊万里焼と食のコラボも始まり、「日本は、世界においても他に類をみないほど高い水準の食文化があり、食における『器』をとても大切にする国。真っ白な現代西洋の器に比べ、日本の器の可能性は計り知れません」日本の伝統文化に敬意を払い、サステイナブルで丁寧に奏でられた吉武シェフの料理は、ミシュランをも唸らせます。地域や国に限定されず、Restaurant Solaのドアを開いた全ての方に精魂込めた料理を楽しんでもらいたいと願う吉武シェフの挑戦は、これからも続きます。



若い人には、恐れずに世界を旅してほしい。そうすることで新たな自分が見えてくると語る吉武シェフ



伊万里焼とのコラボで仕上げた珠玉の一皿

空き家が蘇る!!

Vacant house revives!

東峰村

古民家ヴィラ「あんたげ」



リノベーション後の全景



星空が綺麗に見える月見台

築132年の空き家古民家に新たな息吹をもたらし地域活性化

東峰村には来村したゲストが滞在する宿泊施設がなかったため、景観の優れた宝珠山地区に施設を計画した。ここは、棚田百選に認定された約400年の歴史をつなぐ400枚の「竹棚田」が一望できる場所。宿泊施設を検討していく中で、「景観にとけこむ宿泊施設こそ東峰村らしい施設だ」と結論づけ、築132年の空き家古民家を一棟貸しの宿泊施設へとリノベーションする方向性が決まった。ただし、実際、建物自体が再利用可能か不明のため、一般社団法人全国古民家再生協会福岡第一支部へ鑑定を依頼。床下診断、耐震診断とあわせて総合的判断で改修工事を行うと再利用可能との結果を聞き、計画をスタートさせた。



棚田を繋ぐ大空間の土間

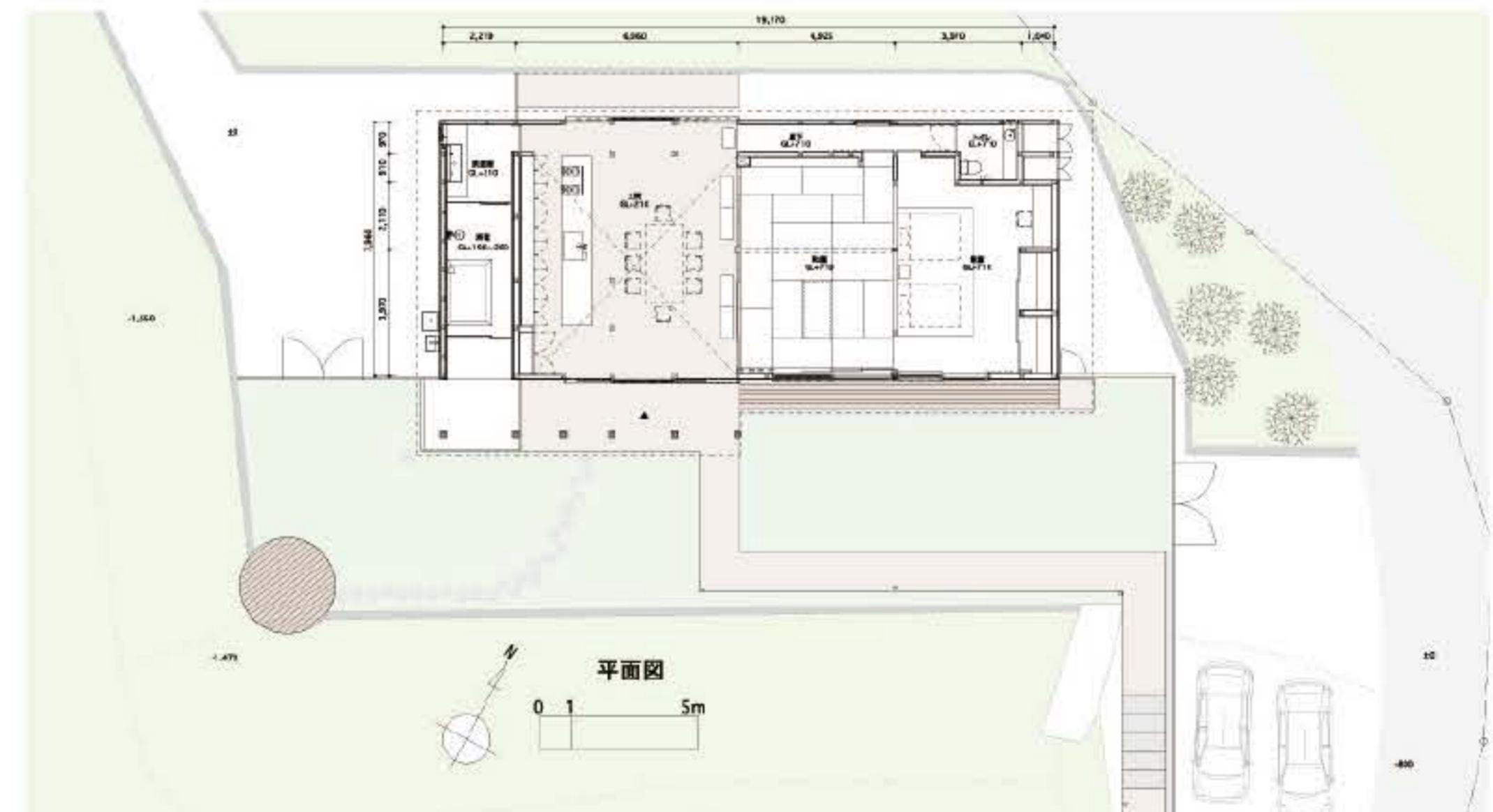


クラシックモダンなベッドルーム

棚田の中に建つ魅力ある古民家宿泊施設にするため、設計コンペを開催し、全国106の設計事務所の中から、神奈川県の設計事務所(納谷建築設計事務所)の計画案が選ばれた。

南北の棚田を繋ぐイメージで造られた大空間の土間は歴史ある古民家のダイナミックな小屋組みを感じられる吹き抜けで構成。また、10帖と7.5帖の2間続きの和室、奥にはベッドルームを配置し、さまざまなスタイルの宿泊対応が可能となっている。

地域住民を中心に構成された一般社団法人竹棚田が村から指定管理を受け運営し、地域活性化へ一役買っている施設となっている。



古民家ヴィラ あんたげ／建築概要

- 所在地:朝倉郡東峰村宝珠山5430
- 構造:木造平屋建て(築132年)
- 延床面積:152.59m²
- 設計:納谷建築設計事務所+OYA
岡田祐介建築設計事務所
- 施工:株式会社南里住建

NIPPONIA HOTEL ハ女福島 商家町



非日常空間へ誘うアプローチ

商家古民家の利活用を核に新しいスタイルの観光事業で経済効果を生む

八女市も他の地方都市同様、人口減少による経済活動の低迷が長年の課題であった。八女商工会議所は市内の八女福島地区・黒木地区の2ヶ所が福岡県下で5ヶ所しかない「重要伝統的建造物群保存地区」(通称:伝建地区)に選定されているが日帰り観光を中心のため、もっと滞在型の観光資源として上手く利用できないか検討していた。調査していく中で、同じ伝建地区である兵庫県・丹波篠山の古民家を利活用した分散型宿泊施設の取組み「NIPPONIA」に注目し、その事業を手掛けた株式会社NOTEと連携することで「八女福島観光プロジェクト」で方針を定め、宿泊滞在型観光を可能とする「NIPPONIA HOTEL 八女福島 商家町」を行政の協力も得て計画した。計画対象の「旧福島

酒造」と「旧大坪茶舗」は、八女福島伝建地区内の築100年以上の商家古民家であり「文化的な価値を失わないこと」「当時の職人の仕事に敬意を払うこと」を念頭に、元に戻せない改変は極力行わないように工夫しながら、建築基準法を遵守しつつ、建物の風合いを活かす最小限の改修で、古民家空間と八女の茶文化が感じられる2棟7室の分散型宿泊施設「KITAYA BETTEI(旧福島酒造)」「OTUBO TYAHO(旧大坪茶舗)」を造りあげた。2棟の施設は八女福島地区の両端にあり、フロント・レストランはKITAYA BETTEIにあるため宿泊者は伝建地区の散策・店舗利用や周辺施設で地域の伝統文化体験等、滞在型観光を行うことで地域に経済効果も生まれ始めている。



KITAYA BETTEI(旧福島酒造)



大きく和室の意匠を変えないように配慮し、可能な限り当時の素材を活かしている



作業場に残る製茶用の蒸窯などをそのまま残し展示、一部はテーブルとして再利用



OTUBO TYAHO(旧大坪茶舗)



NIPPONIA HOTEL 八女福島 商家町／建築概要

- 所在地:八女市本町204(フロント:KITAYA BETTEI)
- 構造:木造2階建て
- 規模
KITAYA BETTEI(旧福島酒造)339.1m² 3室・フロント・レストラン
OTUBO TYAHO(旧大坪茶舗)429.0m² 4室
- 設計:中島孝行アトリエ一級建築士事務所、一級建築士事務所やどり木、有限公司江島建築事務所、株式会社ルームデザインファクトリー
- 施工:オオキタ・大坪建設工事共同企業体、株式会社大蔵組

今年度も「献血」に協力します!

当協会では毎年血液が不足する年末にあわせて、平成15年度から毎年、協会の社会貢献活動の一環として、「献血活動」を県内各地で実施しております。今年度も、下記の各地区において実施します。

開催地区	実施期間	会 場	予約制
久留米地区	令和2年11月11日(水)、12日(木) ・10:00～12:00 ・13:00～15:30	久留米シティプラザ(六角堂広場) 久留米市六ツ門町8-1(献血車)	
福岡地区	令和2年12月3日(木) ・10:00～12:00 ・13:00～16:00	福岡信用金庫本店前(天神ツインビル) 福岡市中央区天神1-6-8(献血車)	
	令和2年11月1日(日)～12月28日(月) ・10:00～13:00 ・14:00～17:30	献血ルーム・おっしょい博多(博多バスターミナル8階) 福岡市博多区博多駅中央街2-1 Tel:092-476-1400	
	令和2年11月1日(日)～12月28日(月) ・10:00～13:00 ・14:00～17:30	献血ルーム・キャナルシティ(キャナルシティ ビジネスセンタービル1階) 福岡市博多区住吉1-2-25 Tel:092-272-5853	
	令和2年11月1日(日)～12月28日(月) イムズ休館日はお休み ・10:00～13:00 ・14:00～17:30	献血ルーム・ハッピークロス イムズ(イムズ8階) 福岡市中央区天神1-7-11 Tel:092-726-1188	
北九州地区	令和2年11月1日(日)～12月28日(月) ※成分献血の場合／・9:30～12:30 ・13:30～16:30 ※400・200mLの場合／・9:30～12:30 ・13:30～17:30	献血ルーム・くろさきクローバー(イオンタウン黒崎1階) 北九州市八幡西区西曲里町3-1 Tel:093-644-1211	
	令和2年11月1日(日)～12月28日(月) 定休日 第2金曜日 ※成分献血の場合／・10:00～12:00 ・14:00～16:30 ※400・200mLの場合／・10:00～13:00 ・14:00～17:30	献血ルーム・魚町銀天街(白樺ビル) 北九州市小倉北区魚町1-3-3 Tel:093-551-1211	

※新型コロナウイルスの感染防止の為、固定施設での献血の場合は、前日17時までに直接電話して献血の予約確認をお願いします。
 ●後援／福岡県、福岡市 ●問合先および申込先／(一社)福岡県建設業協会 総務部 TEL.092-477-6731 FAX.092-477-6740

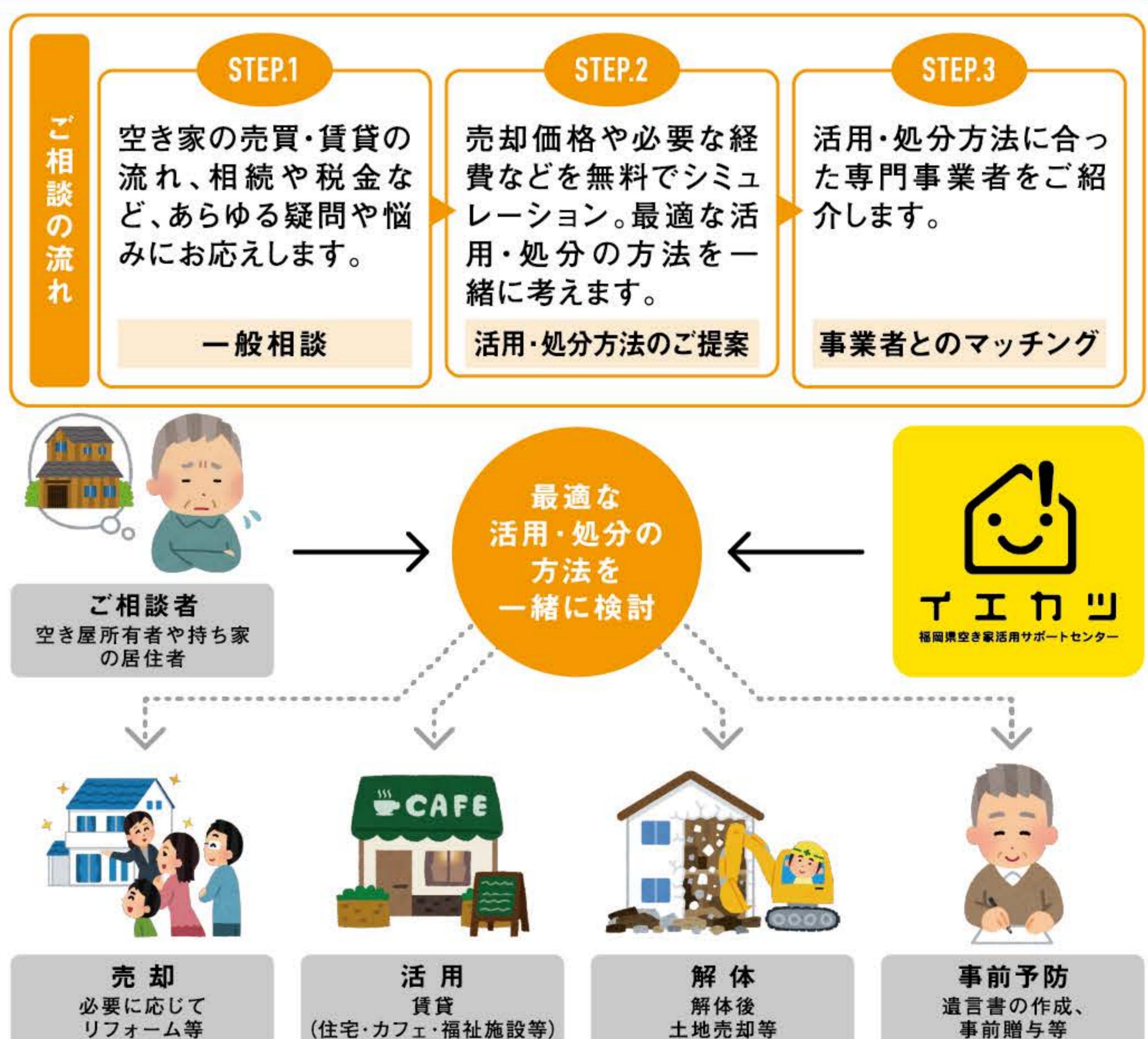
福岡県NEWS

福岡県空き家活用サポートセンター「イエカツ」スタート

全国的に増加の一途をたどる「空き家」。その活用に国も県も様々な対策を講じていますが、それでも、「実家が空き家になり、処分するか、人に貸すか、どうしようか決めきれない、どこに相談したらよいかわからない」といったお悩みをお持ちの方が多いようです。

そのため、このたび、福岡県が「福岡県空き家活用サポートセンター」を設置しました。空き家に関する一般相談から専門事業者とのマッチングまで、専門相談員がワンストップで対応します。また、売却等の価格やコストのシミュレーションもしてくれます。

相談料は無料。詳しくはWEBページを確認してください。



福岡県空き家活用サポートセンター

検索

<http://www.fkjc.or.jp/jigyo/iekatsu>
窓口住所：福岡市中央区天神1-1-1
アクロス福岡東オフィス3階
(一財)福岡県建築住宅センター内
電話番号:092-726-6210
相談日時:月～金曜日(祝日除く)
9:00～17:00



令和2年度「リノベーション推進事業補助金」【リノベde補助】

福岡県では、「既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」を実施しています。

若年世帯・子育て世帯が既存住宅を子育て仕様の住宅にリノベーションする際の工事費用や、子世帯と親世帯が近居・同居するためにリノベーションする際の工事費の一部を補助するものです。30万円以上の工事が対象で補助率は3分の1、限度額は子育て対応改修が25万円、高齢化対応改修が15万円です。詳しくはWEBページを確認してください。

リノベde補助

検索

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/renove-hojo.html>

問合せ／福岡県建築都市部 住宅計画課住環境整備係 電話:092-643-3734

人々の暮らしを創っています

監理技術者講習

選択可能なのは当受付センターのみ
OR 映像講習

ご自宅・職場の近くで受講できます
全国270都市 1000回

信頼の講習内容
100万人以上

講習受付センター
TEL 03-5408-1889
FAX 03-5408-1882
URL <http://www.ciic.or.jp>

国土交通大臣登録講習実施機関
一般財団法人 建設業振興基金 株式会社 建設産業振興センター

経営状況分析は、信頼と実績の
CIIC建設業情報管理センターにお任せください

豊富な
実績

永年の処理実績に裏付けされ、
建設企業様から高い評価を頂戴しています。
適正、的確な処理により、安心してお任せ
いただけます。

迅速な
処理

迅速な処理を心がけ、申請いただいたから、
3営業日以内に結果通知書を発送しています。



どなた様にも親切丁寧な対応を心がけています
ぜひ、CIICの経営状況分析をご利用ください

「なんでも経審Plus」をリリースしました。

経営事項審査、建設業許可の変更届作成など、
行政庁に提出する申請書でお困りはありませんか？

申請書類が簡単に作成できるソフト

「なんでも経審Plus」をお試しください。

このソフトはCIICホームページに公開しており、
どなたでも無料（年会費、使用料など一切不要）で
ご利用いただけます。

ダウンロードしてお気軽にご利用ください。



「なんでも経審Plus」 サポート専用ダイヤル 03-5565-6236

経営状況分析は“信頼と実績の” 登録経営状況分析機関 登録番号1

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 九州事務所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番18号(福岡建設会館6階) TEL 092-483-2841

[アドレス] <http://www.ciic.or.jp/> 又は、 CIIC 検索



令和の時代も信頼と安心

労災上乗せ補償は
建設共済保険

ともに歩み、ともに支える。

掛金が魅力
労働者と企業のリスクをカバー
(死亡及び障害1~7級、傷病1~3級)

契約者に役立つ事業充実
育英奨学事業
被災者(死亡および障害・傷病3级以上)
の子供に対して、保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学生金を提供して給付。

労働安全衛生推進事業
① 安全衛生用品の貸布
② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
③ 安全衛生推進者表彰 等

50周年
おかげさまで50周年
契約者と業界の発展のために

公益財団法人
建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

■取扱機関：(一社)福岡県建設業協会
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18
Tel.092-477-6731 Fax. 092-477-6740

建設共済保険 検索 <http://www.kyousaidan.or.jp/>

将来に笑顔を、現場に信頼を、

未来に安心を

建退共

事業主が変わっても
通算できる！

建退共加入の安否で
問い合わせる
建退共加入の安否で
問い合わせる

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です。

国がつくった退職金制度なので安心かつ確実！ 制度説明動画配信中

けんたいきょう

HITO MACHI FUKUOKA 10



建物のデザインは、アリーナ内部の活動がガラス越しによく見え、地域に開かれ発信する「スポーツショーケース」をイメージしている



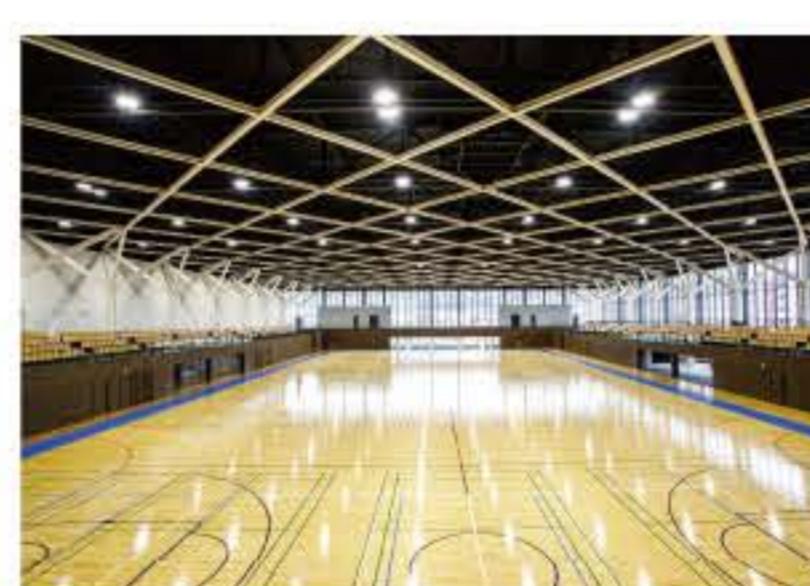
創立60周年記念事業「大楠アリーナ2020」

国道3号線沿いでひと際目立つこの体育館は、九州産業大学が取り組んでいる創立60周年記念事業の一環として建築されました。大学のシンボルツリーである「クスノキ」をモチーフに、大樹をイメージした生命力あふれる構造デザインが特長で、「地域に根ざし、成長し続け、交流を育む学美の丘の大樹アリーナ」をコンセプトに「大楠アリーナ2020」と名付けられました。地域に貢献する「地域密着型大学」の象徴として、学生や教職員、地域の人々の交流拠点となり、末永く使い続けられるスポーツ複合施設ならではの工夫が取り入れられています。

西日本最大級の面積(3,712m²)を誇る「メインアリーナ」は、国体基準のバスケットボールコートが4面確保できる広さで、さまざまなスポーツ競技に対応可能なほか、入学式・学位授与式などの式典では約5,000人の収容が可能となります。また、パッシブデザインを主軸に、経済的かつ環境に配慮した施設になっています。大屋根の庇による日射抑制や自然通風を促す換気窓の設置、クール&ヒートチューブによる地中熱利用、井戸水利用による上水の節水など、環境・省エネ対策を取り入れるとともに、災害時には「一時避難所」として約3,800人の受け入れが可能となっています。



大空に向かって伸びる大樹(クスノキ)の樹形をイメージした柱



大樹の樹冠をモチーフにした、メインアリーナの大屋根の架構



メインアリーナの天井面には、あらゆる角度からのフォーメーション分析が可能な18台のカメラを設置



ジェンダーフリーに配慮した、更衣が可能な「だれでもトイレ&更衣室」



エントランスホールなどの各所にはアロマ発生機を配置し、従来の体育館にはない心地良さにも配慮



仮設トイレとなる「マンホールトイレ」や、ベンチの座面を外すと炊き出しが可能な「カまどベンチ」を設置

大楠アリーナ2020 建築概要

- 住所: 福岡市東区松香台2丁目3-1
- 建築面積: 9,876.16m²
- 延床面積: 17,490.32m²
- 構造: 鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)3階建
- CM(総合監修): 株式会社三菱地所設計
- 設計・管理: 株式会社梓設計
- 施工: 株式会社竹中工務店

